

一般質問

「市政ここが聞きたい」



議会動画配信

9月3日(金)

国スポ・全障スポの市の応援策とは

永瀧 史孝 (自民政新会)

①2023鹿児島国体・SAGA 2024国スポ応援プロジェクトの目指すものは②そのほか大会を盛り上げるために考えている企画は③気運醸成のため東京2020オリンピック・パラリンピック出場選手や大会メダリストとの市民交流の機会をつくれなか。

答弁 ①両国体を双子の大会と位置づけ、様々な分野で関係を深め、大会を盛り上げることに努めています。②児童・生徒が競技体験できる出前講座や、両国体で相互の応援団席を確保し、応援に行きやすい環境をつくることを考えています。③地域と競技団体が交流する中で、子どもたちとトップアスリートとの交流も含めた様々な人と人のつながりに関する提案があれば最大限の支援をしたい。

◆その他◆災害時のトイレについて/地域課題の解決や市民生活の質の向上のために



医療的ケア児への更なる支援を急げ

御厨 洋行 (市政来未)

①「第2期佐賀市障害児福祉計画における目標の設定」の現状と進捗は②医療的ケア児を受け入れる事業所確保の進め方は③日中一時支援の利用区分に医療的ケア児を追加すべきでは④事業所が送迎できるよう送迎加算をすべきでは。

答弁 ①障害児通所支援等の見込量と方策を設定し、各種障がい児福祉サービスの必要量確保に努めており、児童発達支援や放課後等デイサービス等、多くの事業で前年度より利用者が増加し、保育所等訪問支援を利用できる事業所は5カ所になった②県の計画でも事業所確保を目標としているため、情報共有しながら確保に努める③県の補助事業および他都市の事例を踏まえながら調査研究を進めたい④他都市で実施している事例があるため、引き続き研究を進めたい。



第1次産業と福祉の連携に向けて

川副龍之介 (自民さが)

①アスパラ選果場への就労や農地水の作業で農福連携を促すとの事だがその内容は②林野庁が林福連携の事業を促している。林福連携について市の考えは③有明海漁協に水福連携を尋ねたところ将来は必要になるとの意見だが漁家との連携について市の見解は。

答弁 ①アスパラ選果場は機械選別に適さないサイズのものや一定の長さに切断し袋詰めする作業を検討している。農地保全の草刈りでは施設職員が刈り取った草を障がい者の方が収集し処分までの作業を行って②福祉サイドと林業関連サイドの適切なマッチングが重要。ニーズに適切に対応できるよう調査、研究を進めたい③進展がみられない状況だが、マッチングの場を設けていきたい。

◆その他◆放課後等デイサービスについて/放課後児童クラブについて/水害による農産物の被害について



9月3日(金)

ご当地ナンバー

プレート導入決定!!



山田 誠一郎（ネットワーク佐賀）

①導入に至った経緯は②寄贈を受けた枚数と内容は③交付対象は④従来のナンバープレートからの交換は可能か⑤800枚の交付終了後に増刷の考えは⑥交付開始時期は⑦広報の方法は⑧今後、新たなデザインのご当地ナンバープレート導入の考えはあるのか。

答弁 ①アニメ製作者側からお声かけいただき、寄贈を受けた②寄贈は800枚で、アニメ主人公の7人の少女がバールンを見上げる図柄③市内に駐輪場所がある第一種原動機付自転車の所有者が対象④希望の方には交換を受け付ける予定⑤費用面、著作権等の課題もあり、現時点では増刷の計画はない⑥10月1日からの交付開始を計画⑦市ホームページ、市報や佐賀市公式ツイッターなどで周知したい⑧新たに導入する場合は、費用対効果やデザインの地域性などの観点から個別に判断したい。



©ZLS ©ZLSR

9月6日(月)

中心市街地の活性化に向けて

活性化に向けて



山下 伸二（ネットワーク佐賀）

中心市街地の活性化について①これまでの取り組みが、市全体にどのような効果をもたらしたのか②新型コロナウイルスの影響に対する認識は③ICT技術等を活用して映像配信など、新たな取り組みを検討してはどうか。

答弁 ①将来のコンパクトシティの中心として必要な都市機能を確保し、まちとしての魅力を向上させ、市の核としての求心力を維持する効果が得られている②3密回避のために一定規模以上の集客ができず、中心市街地のにぎわいに影響を与えている。今後感染防止対策を講じつつ、いかににぎわいを維持し、回復させていくか大きな課題に直面している③コロナ禍におけるイベント観覧や新しい旅行の形など、皆さんが楽しめるような新しいやり方を、関係者と協力しながら検討していきたい。



コロナ前の賑わいを

新幹線西九州ルート

の駅は何处に!?



川崎 直幸（光明市政）

①現在行われている国と佐賀県における幅広い協議の状況は②仮にフル規格で整備する場合、佐賀市の北部を通るルート、佐賀駅を通るルート、佐賀空港を通るルートの3つのルートが比較検討されることとなると思うが、市長としてどのように考えるか。

答弁 ①国は、佐賀駅を通るルートでのフル規格による整備が適当と考えており、佐賀県は、フリーゲージトレインの実現を含め幅広く協議すること、また、フル規格については、比較検討できるものを出すよう求められている②ルートのほかに並行在来線の問題など、様々な問題が出てくるため、併せて議論しなければならぬ。今はルートに限定して答弁できる段階ではない。

◆その他◆「かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー」について／佐賀空港への陸上自衛隊及びオスプレイ等の配備問題について



徴古館周辺エリアの活性化に向けて

活性化に向けて



野中 宣明（公明党）

①徴古館周辺エリアの活性化に向けた松原公園整備については、前回の一般質問後、どのように取り組まれたのか②徴古館北側の県有地の活用に向けて、県との間でどのように話を進められたのか③この2点の今後のスケジュールはどうか。

答弁 ①佐賀鍋島伝承遺産顕彰会主催で「鍋島文化を活かした佐賀のまちづくりを語る会」を、本市も「松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会」を開催②人々が豊かな自然や歴史を感じながら集い、イベントなどを楽しめる空間としての活用を県に提案。県は公園の全体整備のビジョンやスケジュールが見えないと活用をすぐに具体化するのには難しいとの考え③松原公園周辺の将来像の取りまとめは令和4年度末までに行いたいだが、現時点で全体の具体的なスケジュールは未定。



徴古館

ローカルフード 育成システム促進を



松永 憲明 (社会市民クラブ)

地域の種苗や食文化を守り、地域経済を守るために、地域の農家や消費者、学校関係者、佐賀市が連携し、地域での種取りから栽培、学校給食等での活用を含めて、地域の食事、ローカルフードシステムを育成していくべきではないか。

県や防衛省は説明 責任を果たすべし



白倉 和子 (さが未来)

住民の生活環境に大きく影響する佐賀空港へのオスプレイ配備問題。地権者のみならず佐賀市民、佐賀県民に対しての説明責任がある。①県や防衛省に対して説明会の開催を要請すべきと考えるが②市長勇退にあたり、佐賀空港への思いを伺う。

ジェンダー平等の 実現に向けて



富永 明美 (社会市民クラブ)

SDGsの一つでもあるが、目標達成には厳しい現状があり、早急な対策が必要。今回は、平成31年2月定例会の続きとして質問。LGBTsの視点から①「パートナーシップ制度」の導入を②制服選択制を全中学校へ。

水田転作物として 飼料用米推進を



久米 勝博 (自民市政会)

昨年からのコロナ禍による外出自粛や人口減少により、主食用米の消費が減り、在庫が増加している。その影響で令和3年産の主食用米の作付が削減されている。転作拡大の対応として転作物である水田機能が維持できる飼料用米の作付を推進すべきでは。

答弁 地産農産物を買っていただくファーム・マイレージ運動、市民対象の地産農産物を使った郷土の味体験といった取り組みを行っている。また、学校給食は地産農産物を積極的に使用し、献立に郷土料理を取り入れ子どもたちが地産農産物への興味を深める取り組みを行うなど、各関係機関と連携しながら地産地消を推進している。今後も本市の取り組みや地産地消について情報発信するとともに地産地消の輪を広げていきたい。

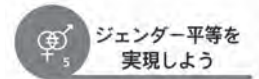


学校給食甲子園大会特別賞受賞

◆その他◆インクルーシブ教育/放課後児童クラブの運営について



答弁 ①漁協と県とで取り交わしている協定書の覚書について整理がされ、協議が整えば、次に県から本市に対する公害防止協定の事前協議が必要となる。この中でオスプレイ問題は、住民説明会抜きで進めることはできない。併せて、自衛隊が供用することでの地域環境への影響調査や安全性の確保など、疑問点を解明することになる②交渉が進むとすれば、将来にわたって責任を持ち、信頼に値する相手と協議がなされるべきと考える。



ジェンダー平等を
実現しよう

◆その他◆消防団について/自治会への助成について

